

大きな宝

《学校だより NO. 1》

2026年 4月9日発行
栗東市立大宝小学校
児童数486名(4/9現在)

ご入学・ご進級おめでとうございます ～令和8年度 スタート～

校長 松濱 秀幸

暖かな春風を受けて木々が背伸びをするかのように新芽を伸ばす頃となりました。今年度は、81名の1年生を迎え全校児童486名でのスタートとなりました。保護者の皆様、お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。今年度より校長を務めさせていただきます松濱^{まつはま} 秀幸^{ひでゆき}と申します。どうか1年間よろしくお願いいたします。

本校の学校教育目標は、これまで脈々と受け継がれてきた次のめざす子ども像です。

だれもがいきいきほのほのうれしい小学校

<めざす子ども像>



「だ」れもが楽しい学校(学級)を自分たちで創る子 【自治】

「い」きいき学び合い 深める子 【探求】

「ほ」のぼの お互いの持ち味を認め合う子 【共生】

「う」れしい 成長を実感し 自分を高める子 【自律】

また、重点目標を検討し、今年度は「自分がすき・友だちがすき・大宝小がすき 楽しく通う大宝小の子ども」として学校教育活動全体で取組を進めることとなりました。自分に自信が持てるよう自尊感情を醸成し、お互いのちがいを尊重し、多様性を認める中で友だちの良さに気づく。そして自分の学校、大宝小学校が大好き、この学校で良かった、と子どもたちが思えるような学校づくりに職員一丸となって取り組んでまいります。

さらに、今年度においては、学級担任が自分の学級だけを見るのではなく、複数指導や教科担任制の指導を生かして「学年みんなが担任であること」「チームで子どもを見ていく」という「学年みんなが担任」として複数の教員が関わり、多面的に子どもたちを支援していきます。

子どもたちが持っている可能性を伸ばし、3月には、どの子どもも「こんなに成長したよ。」と言える1年となるよう、取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご支援、ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

～一人ひとりが大切にされ、自尊感情を育む取組～

自尊感情とは

長所も短所もひっくるめて自分自身をかけがえのない存在と覚えること

～滋賀県教育委員会「人権教育推進プラン」より～

自尊感情が高まると…

- こんな姿につながっていくと考えられています。
- 自分と向き合い、自分を大切にできる。
 - 夢や希望を持ち、前向きに生きていこうとする。
 - くじけず、ねばり強く取り組もうとする。
 - 他者の思いに寄り添い、人を大切にできる。
 - 人を信頼し、協力して行動しようとする。

自尊感情が損なわれると…

- こんな姿につながってしまうと考えられています。
- 「どうせ自分なんて」と自暴自棄になる。
 - 自信がなく、失敗を恐れ、消極的になる。
 - 人とうまく関わる事ができない。
 - 他者を軽んじ、攻撃することで、自身のプライドを保とうとする。